

令和4年度 第4回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月7日（火） 14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階パソコン室
- 3 出席委員 藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、今場 嘉寿、長田 テツ子、
田中 綾、太田 亜希子
- 4 欠席委員 内野 永士
- 5 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 6 学 校 河内 浩（校長）、二橋 宏之（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし

9 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 学校関係者評価
- (3) 来年度の学校運営基本方針について
- (4) 学校運営協議会の自己評価
- (5) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (6) 夢育やらまいか事業CS加算分の報告

10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

11 会議記録

司会の二橋教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から田中委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校関係者評価

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校関係者の評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ それぞれの成果に対し、課題と方策がしっかりなされていると感じた。（藤澤委員）
- ・ 子供の自身の評価よりも、親目線の方が厳しくなってしまうのは致し方ないが、ほとんどが良い評価になっているのは素晴らしいことだと思う。また、先生方が頑張っている事がわかる評価になっていると思う。（太田委員）

- ・ 学校の評価を私たちがするのはむずかしい。横山小学校の子供たちが新聞に掲載された記事を目にしたたり、頑張っている姿を見られるだけでうれしく思っている。(長田委員)
- ・ 校長先生からの説明を聞き、この評価に納得し、少しづつ理解もしている。協議会でそういう話を聞くのも必要だとは思いますが、違う視点でいろんな意見を聞ける場であってほしい。(今場委員)
- ・ いろいろな取り組みを説明いただいて、小規模校の良さを感じた反面、少人数であることの課題がずっとついてまわると改めて感じた。優しさを持った子供たちではあるが、切磋琢磨した子供たちの姿もいろんな場面で見られたらいいと思った。(溝口副会長)
- ・ 評価そのものは真ん中がない。数字にすると5段階で3がない。上か下かとなると判断が曖昧になる。数字で出ると独り歩きをしてしまうのでむずかしいところではあると思う。もう少し深読みしていくことが大事なのではないか。校長先生により事細かに事例をあげて丁寧な評価を示していただいた率直な感想は、横山小学校は安心できるということである。(青山会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 来年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき来年度の学校運営基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 何を実行するにも児童・学校・保護者・地域との繋がりが大切だと思う。お互いの信頼関係を築いていってほしいと思う。(藤澤委員)
- ・ 昔からの校訓を引き継ぎ、取り組んでいることに感謝し、嬉しく思っている。ここ数年、教育において、スピード感があり様々な変化に見舞われる中で奮闘している先生方の努力や苦勞を、たくさんの方に知っていただきたいと思う。(太田委員)
- ・ 横山小学校が、いじめのない学校であることが一番の救いである。地域や学校、保護者の方々が一体となって子供たちを導いていくことは素晴らしい。この姿勢を崩さないようにしてほしいと思う。(長田委員)
- ・ 来年度の運営方針に何ら異存はない。その方向で頑張っていってほしい。(今場委員)
- ・ 大きい学校も小さい学校も子供たちのためにやる事は同じで、やる事がたくさんある。先生方や子供たちが息切れしてしまわないように精選するところはして、取り組みをすすめていってほしいと思う。(溝口副会長)
- ・ 説明により、きちんと構想が練られていて良いと思った。防災面での説明もあったが、学校が「安全」であるのは当たり前であり、「安心」とは違う。安心は、機械やパソコンでは成しえず人間の力によるもので、子供たち一人一人に伝えられるような学校にしてほしい。来年度も期待したいと思う。(青山会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 今回の自己評価はたいへんだったが、皆さんと話し合い、協議し、意見がなされたこと事態高評であると思う。自分としては、いろいろな行事に参加して子供たちと交流できなかったことが反省点である。(藤澤委員)
- ・ 熟議に関して問われると難しいと思った。今年一年は、来年度の運営の基盤を作ることができたと思っている。協議会に出席し、委員の方々の人柄を知ることができて1年目としては大変満足である。(太田委員)
- ・ 学校の中の取り組みも大事であるが、この学校の状況を先生方がどう感じているかが知りたい。教育委員会の方がいらしているので、児童数10人ほどの学校は浜松市内では何校くらいあるのかお伺いしたい。(今場委員)
- ・ 小規模の中でも人数はいろいろだが、10校前後であると思う。その中で横山小学校はかなり減ってきているところではある。(教育委員会)
- ・ 人数が回復傾向にある学校や地域はあるのか。(今場委員)
- ・ いろいろな理由で減ってきているとは思いますが、その中で増加に転じる学校は、残念ながらなかなかない。(教育委員会)
- ・ 日本全国を探して、長く継続できている学校があれば紹介をしてほしい。それが外からの要因なのか、地域での頑張りが要因なのか、お話が聞ければいいと思う。(今場委員)
- ・ 自分が教員であった頃は、学校のことは学校内で運営されてきたため、教職員間で共通意識を持つことはできたが、保護者や地域から意見をいただくことが難しかった。この協議会は、いろんな立場のいろんな方々の意見が聞けて、大変ではあるがよい場であると思った。(溝口副会長)
- ・ 委員に選ばれ、一生懸命考えて意見するつもりでいたが、実際そう簡単にはできなかった。横山小学校の課題である児童数の減少は、学校のせいでも家庭の責任でもないとても難しい問題である。全国各地を探しても、地域がよみがえったという話は、簡単には見つからないと思う。でも、そういうテーマを話し合ってみる価値はあると思うし、やってみるエネルギーが大事である。結果はどうであれ頑張っていきたい。(青山会長)
- ・ 今年度は、いろいろな方の意見が聞けてよかったと思っている。小規模校の在り方についても、いろいろな学校や海外のモデルケース等メディアをとおしていろいろな話が聞けたらおもしろいのではないかと。(議長：田中委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、別紙資料に基づき、いじめ防止等のための基本的な方針についての説明と夢育やらまいか事業CS加算分の報告があった。